



カラーでご覧になりたい方は、錦小HP「学校だより」<http://www.ueis.ed.jp/school/nishiki/>までHPでは、学校だよりで紹介できなかった写真も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

地域を自分たちの手できれいに ～錦中央公園清掃～

12月3日に、環境委員会の5、6年生が錦中央公園の清掃を行いました。例年ですと、錦中央公園は、5年生が中心となって2～4年生をリードしての清掃を行い、錦西公園では、6年生が1年生とともに落ち葉集めなどの清掃活動を行っています。

しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、児童の密集を避けなくてはなりませんので、環境委員会の児童達のみでの清掃としました。短時間の活動ではありましたが、児童達は、錦小学校の代表として頑張って錦中央公園南側の落ち葉を集めることができました。

当日は、保護者の皆様にもお声掛けをさせていただいたところ、お忙しい中にも関わらず、お二人の方にご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

これからも錦小学校では、様々な機会をとらえて地域のよさに理解を深め、よりよい地域づくりのために少しでもかわることのできる児童を育てていきたいと考えております。



わたしも大切 あなたも大切 ～人権週間～

昭和23（1948）年12月10日に、国連第3回総会で「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言の中には、「すべての人は、生まれながらにして自由であり、尊厳と権利において平等である」とうたわれています。この採択を記念して12月10日を「世界人権デー」と定め、日本では、毎年12月4日から10日までを「人権週間」とし、全国的な啓発活動が展開されています。

本校でも、12月1日から12月10日を人権週間とし、児童の人権意識の高揚を図る取組を進めました。児童達には、自分や友達の好きなことや良いところを見付けてそれぞれを大切にしようとすることや友達一人一人の違いを認め合い、お互いに相手の立場を考え、思いやりの気持ちをもって接することができるようになってほしいと願っています。

＜ 人権週間に行った「人権に関する標語づくり」についての取組を紹介します。 ＞



全児童が人権に関する標語を作り、教室廊下に掲示しました。



人権に関する標語の優秀作品を昇降口に掲示しました。



優秀作品を作った児童への表彰を校長室で行いました。

おじゃまします！！教室訪問 ～5の〇～



第9回目は、5年〇組です。担任は、E 先生です。国語の時間にお邪魔しました。

本時は、「反対の立場を考えて意見文を書こう」という単元（学習のまとめり）の第3時間目で、『クラスをよりよくしていくにはどうすればよいか』というような、グループでそれぞれ設定した話題に対して、友達の考えを参考にしながら、反対意見についての説得力ある対応を考えることができる」をねらいとして行われました。（読んだだけでは、ちょっと分かりにくい学習内容かもしれません。）

授業の最初に、先生は、「この単元では、どんな学習をしていますか？」と児童に尋ねました。児童達は、「反対の立場を考えて意見文を書く学習です。」と明確に答えます。それから先生は、「この時間は、何をしますか？」と尋ねると、すぐに児童から「今日は、予想される反対意見とそれに対する対応を考える時間です。」と発表がありました。学習の見通しをしっかりとつ「主体的な学び」を実現できている児童の姿が見られ、感心しました。

先生は、児童の発言を受けて、「反対意見への対応は、ちょっと難しいかもしれませんが、友達の反対意見も参考にしてワークシートを仕上げていきましょう。」と児童に呼びかけ、「では、最初に、予想される反対意見とそれに対する説得力のある対応は、どうやっていくのかを教科書をもとに全体で確認していきましょう。」と言いました。

「教科書にある話題は、『クラスをより良くしていくにはどうすればよいか』でした。そして、教科書にある意見文は、『レクリエーションの時間にドッジボールをする。』でした。これに対する予想される反対意見はどんなものでしたか」と児童に尋ねました。児童からは、「得意な人ばかりにボールが回り、ボールに触れない人が出てくるのではないかと」という意見です。」とすぐに児童達から反応があります。先生が「その意見に対応する考えは何でしたか？」と尋ねると、「『ボールを取った人が、まだ投げていない人にボールを渡すようにルールを変える』です。」という答えが返ってきます。これまでの学習の流れとこれからの学習内容をよく理解している様子が分かります。

先生は、学習のめあてと話題、教科書に出てくる意見と理由、予想される反対意見とそれに対する対応といった内容を大きな表にまとめたものを黒板に掲示し、児童の発言をもとにしながら、確認していきます。見やすく、分かりやすくまとめてある資料を提示することで、児童達は、学習活動の仕方についてすみやかに理解していきました。児童の「主体的な学び」を実現するための教師側の準備や配慮がよくなされています。

次に、本時の中心となる学習活動に進みました。3人グループになり、予想される反対意見と各自が考えたその対応について話し合う活動です。（ここでは、すべてのグループの状況についての記載はできないので、あるグループの学習状況について記載します。）

＜このグループの話題：『廊下を走ったり、廊下で遊んだりする人を減らすにはどうすればよいか』＞

A児：自分の考えは、『校内の安全な過ごし方についてポスターをかくて呼び掛ける。』で、予想される反対意見は、『ポスターをかくのが苦手な人はどうするのか？』です。これに対しては、『作りたい人を募集して、やりたくない人には無理にやらせないことにする。』とよいと思います。

B児：反対意見として、『ポスターを見ても室内で走ったり遊んだ人がいるかもしれない。』については、誰かが室内で走ったり遊んだりしている人を見かけたら注意する。という対応にしたらよいと考えます。

C児：『注意してもやる人が出るかもしれない』という反対意見については、対応として、『先生に伝える』ということを考えました。また、ポスターは、たくさん作って皆に見てもらいたいと思います。

B児：自分の考えは、『ミニ新聞を配る』です。理由は、全員に配るから意識をしてもらえということと、全員に配るので、ポスターだと見ない人も見るからです。・・・・・・・・・・・・・・・・

このような感じで、各グループとも児童達が生き生きと話し合いを進め、充実した「対話的な学び」が実現できている様子が見られました。授業の最後では、グループの話し合いをもとに、友達の考えを参考にして自分の意見文を見直し、加除修正する活動が行われ、児童達は意欲的に取り組みました。

E先生は、国語が専門で、司書教諭の免許も持っており、学校図書館主任として図書館司書のI先生とともに児童が本に親しめるような活動についても積極的に取り組んでいます。E先生とともに、5年〇組の児童たちがこれからもさらにぐんぐん力を付け、より一段と素晴らしい児童に育つことを大いに期待しています。



※ 読みやすさを考え、教員の呼称は、「教諭」ではなく、「先生」とさせていただきました。

※ 地域、ホームページ用の学校便りでは、不特定多数の方の目に触れることもあるため、教職員の名前は、イニシャルにし、顔写真は、イラストにしております。ご了承ください。